

# 丹沢たかし活動報告

市川三郷町市川大門1227 TEL/FAX 055-272-0413 丹沢たかし後援会  
tanbaya@t-tanzawa.com

## ごあいさつ



今年も大規模な災害が発生し、多くの被害が出ました。台風15号による広域・長期間の停電は、最近時の台風の風力が鉄塔や電柱を倒壊させる強さであることを示しました。その後の台風19号による各地での河川の氾濫による被害発生は、歴史的な大雨によるものでした。従来の防災対策の前提を覆すまでの威力の台風の発生は、今年だけでなく、今後毎年起こることを覚悟せざるを得ない気候環境となっています。

山梨でも、芦川などの水量ももう少しで土手を越えるところでした。交通網の脆弱さにより「陸の孤島」といった状態に置かれました。各地での避難所の受入人数や避難のタイミングなどの課題も浮き彫りとなりました。

日本列島に住む限り、どこに住んでいても自然災害に合うことは防ぐことはできませんが、できるだけ被害を少なくすることへの日々の取り組みが重要です。

自助・共助（近助）・公助による、防災・減災・発生時の対応などへの取り組みの再確認と見直しが求められます。



建設進む「青洲高校」校舎

### 【所属委員会等】

- 教育土木常任委員会（委員長）
- 議会広報編集特別委員会（副委員長）
- 議会改革特別委員会（全議員で構成）
- 峡南医療センター企業団議会
- 土地利用審議会
- 市川大門恩賜県有財産保護財産区管理会
- 社会教育委員会
- ふるさと夏まつり実行委員会
- 学校給食センター運営委員会
- 連携型県人会・市川三郷町ゆかりの会「りんどう」理事（元設立準備委員）

### 《市川三郷町大使のご紹介》

#### ■観光大使

- ・ 深沢 敦さん（三珠；俳優・歌手）
- ・ 市瀬 秀和さん（市川大門；俳優）
- ・ 山本由紀美さん（三珠；声楽家）

#### ■ふるさと大使

- ・ 今村裕さん（市川大門；日体大常務理事）
- ・ 笠井千晶さん（六郷；映像ディレクター）
- ・ たかくらかずきさん  
（市川大門；イラストレーター）
- ・ 一瀬皓コさん  
（市川大門；アニメ／イラストレーター）



# 令和元年9月 定例議会の概要

## ■会期 9月2日（月）～13日（金）の12日間

条例の改正、平成30年度一般会計・特別会計決算認定、令和元年度一般会計・特別会計補正予算などの議案が提出され、いずれも原案どおり可決、承認されました。

## ■主な議題等

金額：万円未満四捨五入

### ●令和元年度一般会計補正予算

- ・若者定住促進住宅補助金追加 1400万円（補正後3000万円：H30実績 2690万円）
- ・ふるさと納税返戻品等追加 4546万円（令和元年度受入額を2億6500万円に増額）

### ●名誉町民 指揮者「小澤征爾氏」に市川三郷町名誉町民の称号を贈る。

### ●「空家等対策の推進に関する条例」及び「空家等対策協議会設置に関する条例」の制定

空家等の倒壊などを未然に防止し、適正管理を図るため「対策協議会」を設立する。

### ●印鑑条例の改正・・・「旧氏」での実印登録を可能とする。

### ●平成30年度決算認定

	歳入	歳出	差額	当初予算
一般会計	114億4754万円	109億94万円	5億4659万円	121億3885万円
特別会計（16会計）	58億3218万円	55億6618万円	2億6685万円	56億7996万円
うち国民健康保険	19億6500万円	19億3511万円	2989万円	19億1526万円
介護保険	22億871万円	20億2623万円	1億8248万円	21億3013万円
合計	172億7971万円	164億6712万円	18億1259万円	178億1881万円

### ●長寿・医療費給付金支給 2887万円

（88歳以上、3000円／月；824名）

### ●六郷の里つむぎの湯・いきいきセンター管理費

歳入 1703万円；歳出 8965万円

### ●大門碑林公園 入園者 2659人 一日平均 9人

入園料 716,200円

採拓コーナー使用料 148,500円

### ●有害鳥獣捕獲事業 猪93頭、鹿100頭、

猿3匹 計196頭

### ふるさと納税寄付者受入れ推移

年度	寄付件数	受入額
H20	7	40万円
H26	15	189万円
H27	84	308万円
H28	1107	3586万円
H29	1374	4843万円
H30	6179	1億5200万円



枯死のため伐採された市川代官所跡の御陣屋の松



## ■ 一般質問 9月議会で以下の質問を行いました。

\* 詳細は市川三郷町ホームページ「議会会議録」に掲載されます。

### ◆ 町内移住者交流会の開催を

**Q** 本町の地場産業に魅力を感じ移住してきた若い方々があります。町第2次総合計画では、「移住・定住しやすい、まちづくり」の項で、「町の情報発信力を強化し、本町を知ってもらい、本町で暮らしてもらうことが重要です。交流イベントの充実や交流拠点の整備など、交流による移住・定住に向けて、本町に住みたいと思える人を増やすための仕組みづくりが求められます」としている。その具体化に向け、「移住者交流会」の開催を提案する。

**A**：移住者の不安を解消するためにも、移住者同士の交流会や情報発信をできる機会を設けるよう取り組んでいく。

**Q** 移住における3つのハードルとして、住居、仕事、地域コミュニティがあるとされる。地域住民も参加した「移住者交流会」を開催することにより、地域コミュニティの充実を図ることで、移住から定住につながると思うが。

**A**：選ばれる自治体であるためには、犯罪、事故や災害関連での「安全」という点も重要であり、本町は高評価を得ている。「周辺に誇れるまちづくり」として、総合的に選ばれる町となるよう努力していく。

### ◆ 学校法人日本体育大学との協定に基づく取組み状況について

**Q** ー 昨年12月、町と日体大とで「体育・スポーツ振興に関する協定書」が締結された。この協定は、体育・スポーツ、健康づくりの分野で、各々の教育資源を活用し、相互の発展と社会貢献を図ることを目的としている。活動の具体的内容は。

**A**：市川中学校バスケット部が、8月に日体大キャンパスにて2泊3日で校外活動としての交流を行った。今後は、新生涯学習センター開館記念行事でのイベント開催を交渉している。

**Q** 「町」と大学の協定であるが、「県立」である高校はその活動対象として含まれるのか。

**A**：対象とすることには制限はない。来年度は、高校生も含めた交流を検討していく。

**Q** 当町の地場産業製品が活用されるとのことだが、具体的な進捗状況は。また、県内大学へのアプローチの状況は。

**A**：町内和紙を使用して、日体大附属高校に2回飾り付けを行った。さらに、卒業証書用紙として、日体大及び附属高校で使用いただく運びとなっている。県内大学での活用は、コスト面で厳しい状況である。

また、附属高校生が四尾連湖で夏合宿を行い、好評により今後も継続する意向であると聞いている。





## 平成31年3月31日現在人口及び世帯数

	男（前年比）	女（前年比）	合計（前年比）	世帯数（前年比）
上野地区	1,224（△8）	1,235（△18）	2,459（△8）	912（8）
大塚地区	600（△10）	611（0）	1,211（△10）	465（4）
下九一色地区	55（△7）	62（△9）	117（△16）	68（△7）
市川大門地区	2,971（△8）	3,092（△46）	6,063（△54）	2,623（12）
高田地区	753（△22）	843（△3）	1,596（△25）	683（3）
山保地区	154（△3）	154（2）	310（△1）	143（△2）
大同地区	573（△11）	567（△19）	1,140（△30）	471（△8）
岩間地区	798（△7）	815（△24）	1,613（△31）	710（8）
落居地区	239（△6）	243（△1）	482（△7）	228（△3）
楠甫地区	99（△6）	120（△5）	219（△11）	100（△2）
宮原地区	131（△2）	118（△4）	249（△6）	109（△4）
葛籠沢地区	110（△3）	123（△2）	233（△5）	106（1）
鴨狩津向地区	49（0）	51（△5）	100（△5）	52（△1）
五八地区	2（0）	1（0）	3（0）	2（0）
岩下地区	5（1）	6（0）	11（1）	7（0）
寺所地区	1（0）	3（0）	4（0）	3（0）
計	7,764（△74）	8,046（△134）	15,810（△208）	6,682（7）
外国人	139（△24）	146（6）	285（30）	144（21）
日本人	7,625（△98）	7,900（△140）	15,525（△236）	6,538（△14）



- NPO法人「是空美術展」開催中（～11/15まで）

### 市川三郷町ゆかりの作家による作品展

・会場：ひらしお源氏の館（月曜日休館、10時～16時30分）

宛先などに誤りがございましたら、なにとぞご容赦ください。なお、お知らせいただければ幸いに存じます。